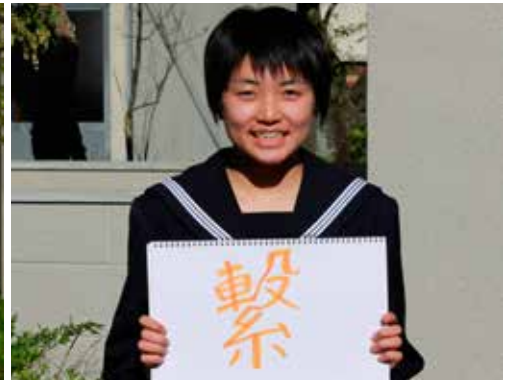
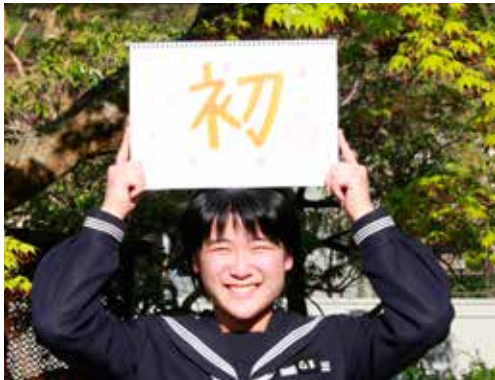


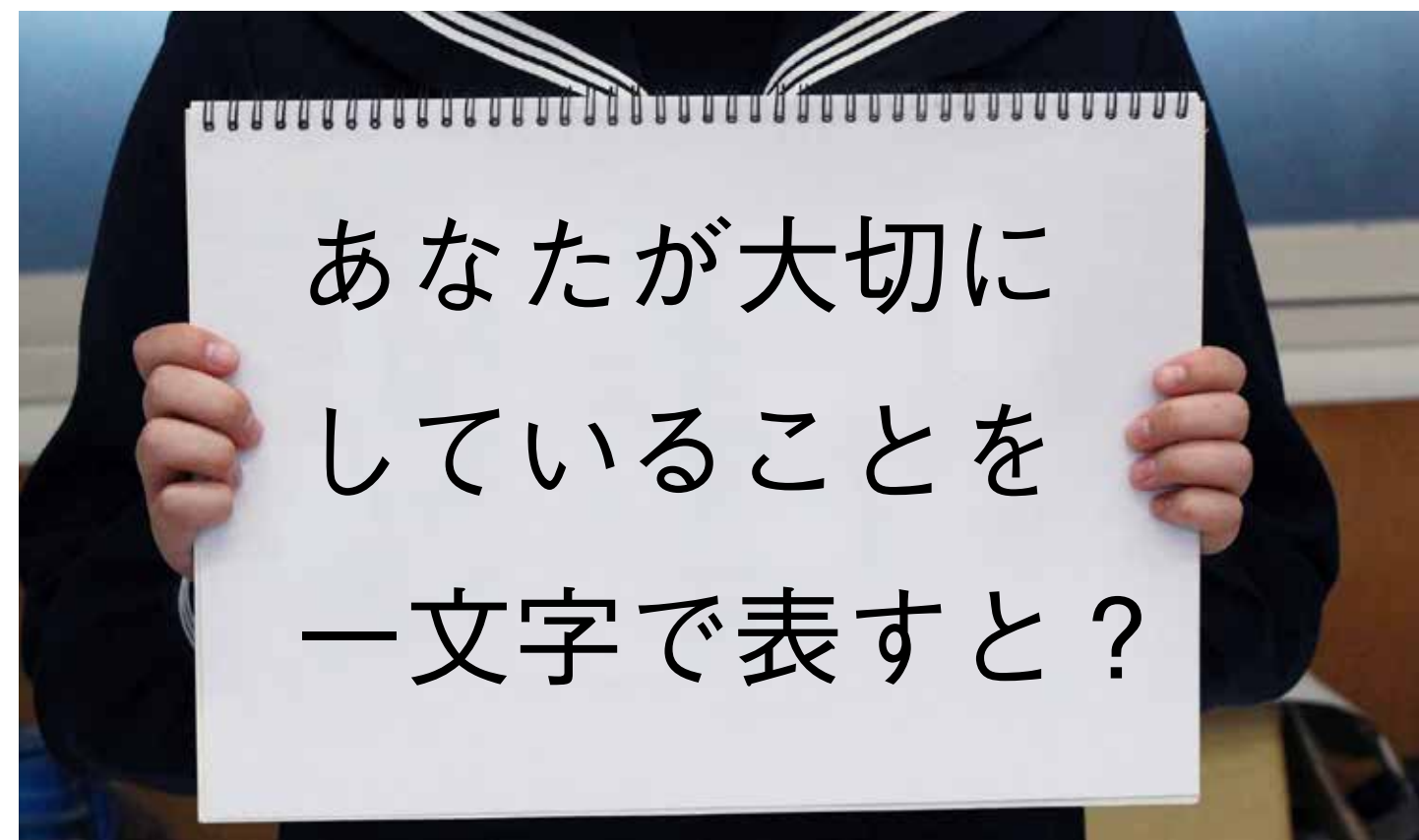
S T R Y



島根県立 津和野高等学校



自分だけのストーリーを、
津和野高校で。



contents

Why	自分の生き方は、自分で決める。	P 3 - 4
Discovery	驚きと発見の毎日、送ってみたい？	P 5 - 6
Connect	町全体が、学校。	P 7 - 8
Challenge	自分に挑戦する。今が、その時。	P 9 - 10
Innovation	その先の一步へ。	P 11 - 12
Will	「なりたい」を叶える 最大の武器は“will”	P 13 - 14
Club	今だから、この仲間とだから、できるコト。	P 15 - 16
Experience	津和野でしか味わえない、特別な体験を。	P 17
Dormitory	温かい居場所が、ここにある。	P 18

スケッチブックの手描きの文字及び裏表紙のイラストは、津和野高校の生徒・先生が描いています。

歴史溢れる町で、開校から一〇九年という
伝統を持つ津和野高校。
ここでは、生徒、先生だけではなく、高校に関わる多くの大人や、
地域の人たち一人ひとりのストーリーが紡がれ、
「今」に受け継がれています。





「今なすがなせる人」になりたい

宮本 善行 みやもと よしゆき 校長

東北福祉大学前学長の故萩野浩基先生（津和野町出身）は、「感性のとき」という著書の中で、「毒矢のたとえ」（仏陀）というインドの古い逸話を紹介されています。

『ある一人の男が、何者かに毒矢を射られた。走り寄ったバラモン（僧・知識人）は、「なぜ、いつ」「どんなふうに」「どんな人」に射られたかと「なぜ、なぜ」と問い詰める。仏陀は「なぜ、なぜは二の次でいい、今急いで

何をなすか。」であると語った。仏陀は「まずは目の前の毒矢を抜き、口で毒を吸い出し、のちに原因をつかみ次にしっかり活かしなさい」というのである。

私にとっての今は、存続の危機にあった学校を生かす生かされる存在にすることです。さて、「無Ⅱ禅Ⅱ真理」の自然体で真理にたどり着き、「今なすがなせる人」になりたいという私の願望です。



自分の生き方は、自分で決める。

これまでにした無数の選択と決断が、

「今」の自分をつくっている。

そんな、今につながるストーリー。



最高の担任経験を今、ここで

池永 和江 いけなが かずえ 教諭

津和野高校に赴任して6年間ずっと担任をしています。津和野高校での担任はたった1年間でも成長の手応えを随分感じさせてくれるもので

す。まだまだ伸びる、様々な可能性のある生徒たち。それを身近でみることができの、津和野高校の魅力。
この生徒たちを続けて担任することで伸ばし、自分も一緒に成長できればと考えています。担任をしている2年生の卒業時の進路がとても楽しみです。30年近い教員生活の中でも最高の担任経験を津和野高校でしているのだと、今は思っています。

このままじゃダメだ！

和田 桃奈 わだ もな 3年

先輩に薦められて津和野高校を選びましたが、入学後もただ周りに流されながら生活していました。進級の際に「このままじゃダメだ！」と思い、小さな事でも毎日目標を立て、いろいろなことに挑戦しました。その結果、合唱コンクールではクラスをまとめ、結果だけではなく、達成感と充実感も得ることができました。また、吹奏楽部の部長になり、大変なこともあります。課題と向き合い充実した活動をしています。



津高には頑張る生徒を応援

新しい高校のあり方を問えない訳がない

山本 竜也 やまもと たつや 高校魅力化コーディネーター

私がここにいる理由は、「津和野高校で働きたい！」という強い思いに満ちているからです。この高校は、個性豊かな

な人が集まり、それぞれを認め合い、お互いに学び合う場としてますます成熟してきています。さらに、生徒の「挑戦」、それを応援する教職員、魅力化スタッフ、地域の「協働」が年々加速しています。
津高なら、新しい高校のあり方を世に問えるに違いないという確信が私にはあります。この高校の一員として働くことの喜びと誇りは、本当にかげがえのないものです。



文教の里で学ぶ。

石見の小藩・津和野藩は人材づくりこそ周囲の諸藩に対抗する術と考え、藩校・養老館を置き、近代日本の各方面で先駆的な人々を輩出しました。

津和野高校の前身であるこの養老館で学んだ森鷗外や西周の高潔な意志と情熱は、今もその後輩である津高生の心に受け継がれています。



驚きと発見の毎日、 送ってみたいくない？



刺激！意識！！感謝!!!

桑原 結貴 くわばら ゆき 2年

津和野高校に入って、様々な中学校出身の人や、県外から来ている人にたくさん出会い、すごく刺激を受けています。勉強などで悩んだ時は、周りの同級生や先輩に相談できているし、先生方も「考え方や方法は一つではない」ということを教えてくれます。

しかし、この事に気づいたのは最近のこととで、自分自身を客観的に振り返りながら、ポジティブでいようと意識したり、周りの友だちや先生に感謝できたりする自分のことを以前よりも好きになっています！



驚くほどの距離の近さ

木原 雄也 きはら ゆうや 2年

津和野高校に入学して驚いたのは、先生と生徒の距離の近さです。僕たち生徒と先生方は本当に仲が良いと思います。だから、授業で少しでも分からないことがあれば、気軽に質問することが出来ます。そうすると先生もばつと答えてくれますし、個別指導で分かるようになるまで教えてくれます。僕も個別に先生から教えてもらい、苦手だったところが減りました。

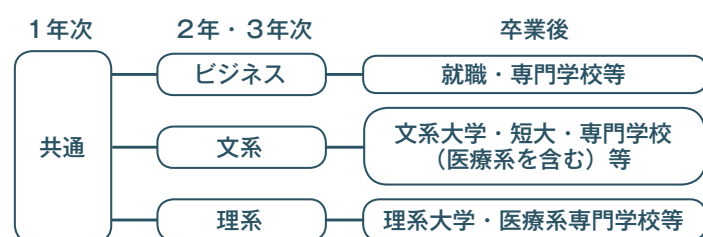
また、2年生になる時のコース選択では、将来やりたい仕事に近づくための科目を自分で選ぶことができるので、やる気が出るし、とても良いと思います。



選択 コース

希望の進路によって2年生からコースを選択。

3年次の選択授業も多彩で、就職から国公立大学への進学まで、どんな進路にも対応しています。



※各学年80名の定員を3クラスに編成して、少人数指導に力を入れています。



新しい自分、やりたいこと、
自分だけの熱い想い……
ここから始まるストーリー。

可能性は無限大

梶林 寿音 ちはやし ゆね 3年

「可能性は無限大」。私はこの言葉を津和野高校で実感しました。何事も面倒くさいと感じ、勉強が大嫌いだった私。しかし、自分の夢を見つめるべく、ボランティア活動やインターシップに積極的に参加したことで、やりたいことを見つけました。それからの生活

はとても有意義なものとなり、何より夢に近づいていることを楽しく感じています。日々の勉強は大変ですが、何事も行動に移せば視野が広がり、目標に向かって可能性は広がると分かりました。新しい自分を見つけてくれた津高に入学して本当に良かったです。

人前に出ることが好きなんだ！

岡本 こなつ おかもと こなつ 2年

私は、津和野高校に入って「人前に出ることが得意」という自分の新しい一面を発見しました。中学生の時は、人前で話すことが苦手で、前に出て何かをするということをして避けていました。

入学後に、発表の機会が多いグローバルラボに入学してから、人

前に出ることが自然と多くなりました。人前に出て自分に注目が集まる時、「話を聞いてもらっている」という嬉しさを実感しています。今では、「人前に出ることが好きなんだ！」と思います、その特技を活かしていきたいと思うようになっていました。



文化祭



体育祭

つこうさい
津高祭 [9月]

津和野高校最大のイベント。
文化祭と体育祭を連日開催します。

ツコウ
の
イベント





津和野町は私が生まれ育ったところ。故郷を離れてから約30年、ようやく、再び津和野で生活しています。子どもの頃にはありふれていた地元のものが、今は鮮やかで輝いて見えます。津和野高校の生徒たちは、若い頃の私には見えなかった地元の魅力に気づいているようです。

地方は古く変化のない場所から、変化に富んだ魅力的な場所へと変わってきました。津和野では高校生がこの変化に関わっています。津和野高校は、普通の高校よりは少しだけ、よりリアルに、社会とのつながりを感じ、体験できる場所だと思っています。

カッコいい大人になれる

牛木 力 うしきちから 高校魅力化コーディネーター



津和野高校に来たのは昨年。それまでは、カリフォルニア大学バークレー校で、東北で被災しながらも地元貢献したいという思いを持つ高校生

に向けた、リーダーシップ育成プログラムの設計に携わっていました。津和野町では、アンテナを少し広げるだけで様々な分野で活躍するカッコいい大人に簡単に会うことができます。高校生の間に、是非こうした素敵な人たちに会い、自身の課題に触れ、「自分はこれが好き！」と思えるものを見つけたいと思います。スポンジのような十代のあなたたちなら、3年間で今とは見違えるようなカッコいい大人に変身できると保証します。

町全体が、学校。

この町の人との出会いが、つながりが、世界をどんどん広げてくれる。町とともに紡ぐストーリー。



神楽は生きがい、だからここにいます

大庭 将希 おおばしょうき 2年



津和野高校での生活は、地域とのつながりがとても強いと思います。津高祭には地域の方がたくさん参加して、盛り上げてくれます。また、萩から津和野まで丸一日かけて歩く鍛錬行事では、給水所で食べ物や飲み物を準備して僕たちを応援してくれます。僕は、保育園の頃から石見神楽をやっているのですが、「よかったよー」と声をかけてくれるのがとても嬉しくて、もっと良い舞をしたいと思っています。僕にとって神楽は生きがいです。高校生活や神楽を通して出会えた多くの人とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。

やってみよう、道は拓ける

村上 想 むらかみこう 3年



2年生の冬に1ヶ月半、津和野町日本遺産センターでインターンシップをしました。総合的な学習の時間で取り組んだ「津和野百景図を活かしてTシャツを作る」という活動に挑戦したいと思ったからです。一人での活動ということもあり、最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、「やりたいと思ったことをやらないで後悔するより、やってみよう」と、思いきって行動しました。今回のインターンシップを通して、県内外の方々と話をして津和野の魅力を改めて知り、商品を作る上で考えるべき点なども学べました。たくさんの方々に支えてもらって貴重な体験ができたことを、心から感謝しています。

地域がこんなに身近にある高校、あります!?

長田 輪 ながたりん 2年



太鼓谷稲成神社のお田植え祭や収穫祭への参加、部活動などで津和野と関わったこの1年間で、私自身にたくさん学びと変化があったと思います。お祭りなどに参加して、初対面の人と会っても優しく話ができ、地域の温かさや面白さを感じることができました。

「もっと関わりたい」「いろいろな人と話したい」、そして「町のために何かしたい」という気持ちが出てきています。現在、私は空き家についてのプロジェクトをやりたい

思いが通じたのは初めてでした

常永 龍平 つねながりゅうへい 2年



昨年、僕たちは総合的な学習の時間で「津和野町の災害」について調べ、平成25年に津和野町を襲った水害について実際に現地取材し、過去に起こった災害についても調べました。この水害で、僕の住む名賀地区も

大きな被害を受けたのですが、取材を通して同じ体験をした地元の人と話して、初めて思いを共有できたのは嬉しかったです。災害から学んだ教訓を活かせたらと思います。現在も僕は一人で被災した地域の人への取材や調査を継続しています。こうした地域と連携した学習があることも、津高の魅力だと思います。

総合的な学習の時間



自分に挑戦する。
今が、その時。



誰だって最初は

震えるほどこわいし、不安なもの。

乗り越えるのは、自分自身。

踏み出す勇気のストーリー！



何事も、楽しめるかは自分次第

長嶺 萌 ながみね もえ 2年・フィンランド留学中

いつか留学してみたい
と思っていたが、英語
も得意ではないし、「私に
できるのかな？」と、とて
も不安でした。しかし、学
校やHANKOの先生
方がサポートしてくれたお
かげで、「あれこれ考える
より、とにかくやってみよ
う！」と踏み出すことがで
きました。

最初は正直すごく辛かつ
たけど、「自分の意見を言
わないと、あなたがどんな

自分の知らない世界を知りたい！

永安 悠莉 ながやすり 3年・ノルウェー留学中

中学校までは人目が気
になり、前に出る勇気が
ありませんでした。高校
に入ってから、クラスメ
イトの個性の豊かさに触
れ、考えが変わりました。

「自分らしくいる」、そして
「意見を持ち、人と話がで
きる」、そんな人になりた
いと思いました。そして、
魅力化コーディネーター
や塾の方々の様々な経験
を聞き、「自分は何も知ら
ないな」と気づき、「自分

の知らない世界」を知り
たいと思い、留学を決意
しました。
留学中は、自分の無力
さを痛感しつつも、でき
ることをやり、たくさん
の人に助けられて今の私
がいます。



津高生が町の中心に

林 凌汰 はやしりょうた 2年

中学生の時、職場体験で訪れた津和野
町役場の方が、一生懸命に町を良くしよ
うと取り組む姿を見て、僕も生まれ育つ
た町のために何かをしたいと思いました。
総合的な学習の時間（総学）やHANKO
Hでの授業を通して、町長や町議員
の方との意見交換を行うなど、実際の町
の課題解決に高校生が関わることができ
るのは、地域に密着している津和野高校
ならではの面白い点だと思います。

地域のことを知ることができたから、
今まで何とも思わなかった町の景色が、
「もっとこうすれば良くなるんじゃない
か」という視点で見えるようになりました。
これからは、総学で見つけた町の課
題解決に取り組んで、津高生が中心にな
るくらいの意気込みで、町を盛り上げて
いきたいと思っています！



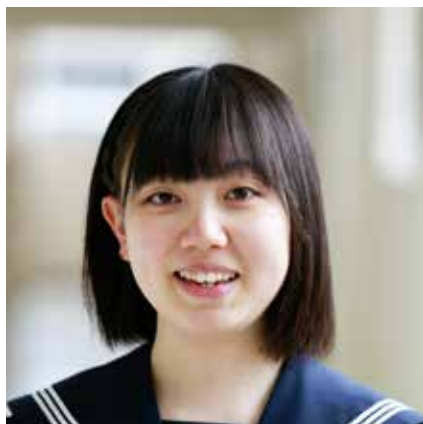
弓道、その奥深さ

須川 美結 すがわみゆ 3年

私は高校から弓道を始めました。きつ
かけは、オープンスクールで見た先輩の
姿勢や、矢を射る音がかっこいいと思っ
たからです。

弓道は一見、単純な動作に見えますが、
考えすぎるとうまくいかないなど、実際
はとても奥が深く、難しいです。しかし
の前で矢を射ることが楽しく、また自分
自身と向き合う時間にもなっており、す
ごく充実しています。

型を修整するために何度も弓を引いた
り、雪の降る中、寒さに耐えながら練習
する中で、技術的にも精神的にも鍛えら
れたと思います。総体では今までの成果
が発揮できるように、チームで支え合っ
て頑張りたいです。



誰もが失敗を

認め合える場所

栗田 雅也 くりたまさや 2年



津和野高校に入学する時、「何事も自
分のプラスになるはずだから、ポジティ
ブにとらえよう」と決めて、苦手な事に
も前向きに取り組んできました。津高祭
ではクラスの代表として発表し、緊張で
すごく震えましたが、この経験は社会に
出ても必ず役に立つと信じています。

また、日本全国から生徒が集まってい
るので、他県の良い所はもちろん、地元
の良さに気づくこともできるし、誰もが
失敗を認め合い、支え合っている場所で
もあります。これからは、もっとよく周
りを見て、相手のプラスになることを考
えて行動できるようにしたいと思います。

ワコウ
の
イベント

たんれん
鍛錬行事 [10月]
〈萩から津和野を歩く〉

津和野高校の大きなイベントの一つ。「学び」と「歩き」
を2日に分けて開催し、萩から津和野までの約47.5
kmの道のりを歩きます。
正直とてもキツイですが、保護者や先生方、地域の方々
への感謝、そして一緒に歩く仲間たちとの絆を感じら
れる、津高生イチオシの行事となっています。



その先の一步へ。

何かを変えたいなら、まずは自分から。

今日よりワクワクする、明日へのストーリー。



なりたい自分と未来との新結合

池田 有司 いけだ ゆうじ 教頭

AI（人工知能）の技術革新がますます勢いで進む中、今後10〜20年程度で約47%の仕事が自動化されると言われています。この「革新」は教育の世界でも進み、大学に続いて、高校の現場においても未来を見据えた新しい学校づくりが求められています。

本校は、従来の高校の機能は残しつつ、町役場職員、魅力化コーディネーター、町営英語塾の講師など、実社会で活躍する方々の力を借りて、未来に役立つ学びの実現を目指しています。この環境で学ぶことで、なりたい自分と未来との新しい結合を果たしてほしいと願っています。



「甚だしき」をパワーに、成功へ向かえ

松原 真倫 まつばら まりん 町営英語塾 HANIKOH 塾長

僕は津和野高校の中にある町営英語塾で、毎日高校生の皆さんと関わっています。高校生のみんなのエネルギーや楽しそうな様子を見ていて、いつも「羨ましいなー、僕も高校生に戻りたいなー」と思っています。自分が高校生に戻れるとしたら、自分が一番興味のあることを突き詰めて、とことんやり抜いてみたい。僕は高校時代にそんな時間を過ごせなかったから。みんなも少しでも「興味あるな、やってみたいな」と思うことが見つかったらそれにこだわって挑戦してみてほしい！欲求の甚だしき、行動の甚だしさが成功を収める人の特徴だと聞いたことがあります。みんなが「甚



だしき」をパワーにして、成功体験を積み重ねてくれるように塾の立場から応援していきます！

熱く勝負にこだわれば「甲子園」は近い

山田 勇太 やまだ ゆうた 講師
野球部監督

津和野高校野球部は、平成2年に「甲子園」に出場した経験を持つ伝統ある野球部です。私たちの目標は、高校野球の頂点である「甲子園」で戦うこと。そのために、常に熱さを持ち、勝負にこだわって活動しています。

高校野球は、人間教育の場であり、厳しい練習などの経験を通じて、社会で活躍する人材に育つと信じています。津高野球部は、地域を挙げての支援を頂いており、町民の方々に感動を与えられるよう、戦っている姿を精一杯見せたいと思います。伝統を新しい形で継承するために、日々熱くなり、チャレンジを続けていきます。



「挑む」気持ち、あきらめない気持ち

松本 悠汰 まつもと ゆうた 3年
野球部主将

「失敗を恐れずに挑戦していい！」という意識を部員みんなが持ち、常に「挑む」気持ちで野球に取り組んでいます。僕自身、もともと人を引っ張るタイプではないので最初は戸惑いもありました。しかし、主将としてのあり方に「挑む」気持ちで野球、部員、そして自分自身と日々向き合い、どうすればより良くなるのかを考えるようになりました。また、野球を通して学んだ「あきらめない気持ち」は、勉強はもちろん、日常生活においても新たなことに挑戦する一歩を踏み出す勇氣となっています。

青春を懸ける価値がある

藤原 真介 ふじはら しんすけ 教諭
バレーボール部監督

「ここから津和野高校女子バレーボール部の新しい歴史、新しい伝統が作られていく」。私は、その部員たちに言い続けています。バレーボールは、精神力・体力・技術力の面で自分自身を伸ばし、自分の可能性に挑戦できる素晴らしいスポーツです。チームで取り組めば、周囲の人々に夢と希望を与えることもできます。だからこそ、大切な高校3年間という一度しかない青春の「今、この時」を懸けてほしい。一つひとつの目の前にある勝負に懸ける思いの強さが、やがては島根県のバレーボールの歴史を変えます。津高女子バレーボール部は、本気です！



もっと愛されるチームに！

春日 里菜 かすが りな 3年
バレーボール部主将



藤原真介監督、藤原弘行コーチの熱いご指導のもと毎日練習に励んでいます。監督の「ここには可能性がたくさんある。みんなが津和野高校の歴史を変えたい！」という言葉に背中を押してもらい、チーム全体が高い意識を持って練習に取り組んでいます。バレー部の活動を通して「どうしたらもっと伝わるのか」を意識するようになり、自分自身、すごく変わったと感じています。

ここは、3年間青春をかけてやってきてよかったと心底思える場所だと思っています。みんなが入りたいと思えるように、もっと愛されるチームになつて島根県チャンピオンを目指します！

鷗外講座 [9月]

津和野出身の文豪、森鷗外について、森鷗外記念館や旧宅を訪れたり、記念館のスタッフの方の講義などを通して学びます。



球技大会 [7月/3月]

クラス対抗でバレーボールやバスケットボールなどのチームに分かれて競います。



ウコウのイベント



高校生活で一番印象に残っているのは、みんなでお昼ごはんを食べながら過ごした自由で楽しい休み時間です。勉強も、所属していた野球部の活動も両立したいと思い、自分なりに一生懸命取り組んでいたのが、「やるときはやる」「休み時間は思いきり楽しむ」というメリハリをつけるような心がけていました。

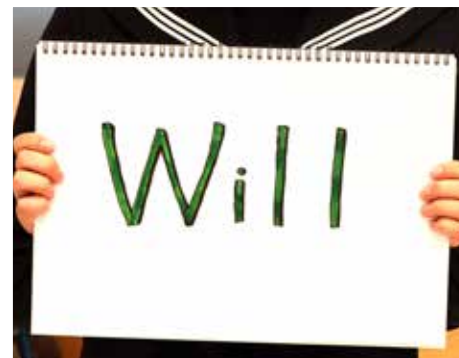
町役場で働きたいと思った理由の一つも、オンとオフを切り替えるからこそ、どちらか一方ではなく、自分の時間も、仕事もバランスよく全力で取り組めると思ったからです。これからも、あいさつをしっかりと、明るくはきはきと対応し、接する人に気持ちよくなってもらえるよう、がんばりたいと思います。

石川大樹 いしかわ だいき
(2015年卒)
役場職員・津和野町役場

3年間で成長できる場所

「あなたにとって津和野高校はどんな場所だった？」
そこから見える、津高を卒業した先輩たちの、夢へとつながるストーリー。

「なりたい」を叶える最大の武器は“will”



友だちと笑顔で過ごせる場所

長嶺 ふたば ながみね ふたば
(2015年卒)
保育士・津和野町立青原保育園

高校時代は、合唱部で活動していました。人数が少ない中で、自分のパートでピアノを弾いたり、それに合わせて歌ったりして練習を重ねました。その結果、ピアノが上達し、現在の仕事でも、子どもたちと歌う時などに生きています。

津和野小学校で養護教諭実習をした際に、小学生がすごく純粋で素直で、とてもかわいいと思いました。子どもに関わる仕事をしたいと改めて思った時に、保育士の募集を見て、今の仕事に就きました。就学前に関わるからこそ、それぞれの子どもの特徴にあった声かけやサポートをしていきたいと思います。

就 職

ビジネスコースで、就職希望の生徒は100%の就職実績！

1. 「津高生は真面目である」と、企業からの厚い信頼がある
2. 就職に有利な資格を取得している
3. 偏りのない幅広い職種・業種から多数の求人があり、自分の適性や希望に合わせて出願できる

平成 27・28 年度 就職実績

JR 西日本・日本郵便株式会社中国支社・島根県農業協同組合 西いわみ地区本部・企業警備保障株式会社・西中国信用金庫・株式会社ジュンテンドー・マツダ株式会社・株式会社キヌヤ など

進 学

生徒が目標を達成するための徹底した指導体制。
生徒のやる気にとことん付き合う教師陣！

1. 進路希望に合わせた講座の同時展開で少人数指導
2. 地域課題解決を目指す総合学習で生徒の関心を喚起
3. 町営英語塾 HAN-KOH との連携によるきめ細かな指導
4. 大学の出前講座などで進路意欲の向上
5. 生徒一人ひとりのやる気に応える添削指導

平成 27・28 年度 合格実績

【国公立大学】 広島大学・島根大学・山口大学・大分大学・島根県立大学・高知県立大学・長崎県立大学・三重県立大学・鳥取環境大学・尾道市立大学・広島市立大学 など

【私立大】 慶應義塾大学・立命館大学・龍谷大学・国士舘大学・日本赤十字広島看護大学・広島修道大学・安田女子大学 など

【短期大学】 島根県立大学短期大学部 など

【医療系専門学校】 浜田医療センター附属看護学校・石見高等看護学院・浜田准看護学校・リハビリテーションカレッジ島根・下関看護専門学校・朝日医療専門学校・島根県歯科技術専門学校・出雲医療看護専門学校・YIC 看護福祉専門学校

【専門学校・大学校】 トヨタ名古屋自動車大学校・高津理容美容専門学校・広島酔心調理製菓専門学校・広島スポーツ&リゾート専門学校・穴吹医療福祉専門学校・島根職業能力開発大学校・島根県西部高等技術学校 など

「人との出会い」があり、
自分の成長を実感できる場所

島田 美久 しまだ みく (2017年卒)
大学生・慶應義塾大学 (総合政策学部)

「自分の高校生活を自分でデザインしていく」
これは、私が高校に入学した時に聞いた、とても気に入っている言葉です。
この言葉から、私は高校3年間、地域活動や剣道、勉強など自分のやりたいことに向かって挑戦し続け、とても楽しい、充実した日々を過ごすことができました。津和野高校には、苦手なことにも挑戦し、克服するために応援してくれる仲間や大人がたくさんいます。
「これから何をしよう!?」と考えている人も全然遅くはありません。直感で「や



りたい!」と思った感情を大切に、自分に正直に、たくさん笑って悩んで一生に一度の高校生活楽しんでください。

文化部合同公演 JAM [7月]

合唱部、吹奏楽部、美術部が合同で開催する音楽イベント。地域の人との交流の場にもなっています。



宿泊研修 (1学年) [4月]

山口県の研修施設でアスレチックなどを通して、学年全体のチームワークを高める研修です。



ワコウのイベント

卓球部



目標は、中国大会に出ることです。
毎日楽しく練習しています！

部長：
彌政 夏美 いよまさ なつみ

美術部



興味がある人、
高校からでも気軽にきてね！

部長：
上田 芽生 うえだ めい

吹奏楽部



とっても楽しい
ソコウプラス！
私たちと一緒に
青春を奏でま
しょう♪

部長：
和田 桃奈 わだ もな

空手や剣道等の活動もあるよ！



弓道部



初心者大歓迎！
初めてでも、
大きな大会に出場
できます！

部長：
永戸 理奈 ながと りな

合唱部



聴いてくださる人を
笑顔にできる演奏を
目指してがんばって
います！

部長：
弘中 優菜 ひろなか ゆうな

グローバルラボ



自分たちで考えて
活動できるのが、
すごく楽しいです！

部長：
鈴木 元太 すずき げんた



仲間との「今、この時」「この瞬間」に、
全力で取り組む先輩たちの熱中のストーリー。

今だから、
この仲間とだから、できるコト。



野球部



僕たちと一緒に
甲子園を目指しま
しょう！

部長：
松本 悠汰 まつもと ゆうた

バレーボール部



目指せ！
島根県
チャンピオン!!

部長：
春日 里菜 かすが りな

陸上競技部



みんなで
励まし合いながら、
自己記録の更新を
目指して日々
がんばっています！

部長：
土井 飛鳥 どい あすか

ソフトテニス部



活気があって、
いつも声がでている
楽しい部です！

部長：
豊田 大暉 とよた だいき

【全国大会出場の記録】

【野球部】

第72回全国高等学校野球選手権大会
(夏・甲子園) 出場 (平成 2 年)

【弓道部】

全国高校弓道選抜大会 (平成 3 年)
全国高校弓道選抜大会 (平成 24 年)

【合唱部】

全国合唱コンクール第 3 位 (平成 2 年)
第 11 回国民文化祭とやま '96 (平成 8 年)
全国高校総文祭福岡大会 (平成 13 年)
全国高校総文祭青森大会 (平成 17 年)
全国高校総文祭島根大会 (平成 19 年)

【空手】

全国高等学校総合体育大会 (平成 23 ～ 28 年)
全国高校空手道選抜大会 (平成 27 年)

【かるた】

全国高校総文祭 (平成 22 ～ 24 年)

【将棋】

全国高校総文祭三重大会 (平成 21 年)
全国高文連将棋新人大会 (平成 23 年)
全国高等学校将棋選手権大会 (平成 23 年)
全国高等学校将棋竜王戦 (平成 23 年)

【囲碁】

全国高等学校囲碁選抜大会 (平成 29 年)



全国から集まる、個性豊かな生徒が暮らす「つわぶき寮」。
本音でつきあえる仲間とのストーリーを、ここで。

温かい居場所が、ここに



津和野には、学校行事以外にも
たくさんの伝統的な祭りや
地域のイベントがある。
体で感じる、津和野のストーリー。



やぶさめ
流鎬馬神事（4月）
日本に現存する最古の馬場がある、津和野町内の鷺原八幡宮で開催される神事。
津高生も持ちなどに参加しています。



高校から徒歩1分のつわぶき寮では、島根県全域、さらには13もの都道府県から集まった54名の津高生が生活しています。進学に向けて学業に励む生徒、地域の社会活動に参加する生徒、甲子園を目指す生徒、春高バレー出場を目指す生徒等、それぞれが自分の夢に向かって、互いを認め合い、協力しあいながら自立した生活を送っています。また、バーベキューなどの様々なイベントも行い、寮生同士の親睦や地域との交流を深めています。寮で仲間と出会い、自分を磨き、感謝する気持ちを育てながら、充実した「ツワノ暮らし」をしてみませんか。

- 施設（定員：男子36名、女子32名）
居室 定員 - 1部屋4名
全室冷暖房完備
個別学習机・ベッド・本棚・収納棚あり
- 寮費
入寮時：5,000円 毎月寮費：35,000円

- 寮のイベント（昨年実施したもの）
球技大会、バーベキュー（地元の人と実施）、天文台見学、クリスマス会、映画鑑賞ツアー、津和野町内の美術館見学 など



お田植え祭（5月）
津高生も早乙女になって、「太鼓谷稲成神社」に奉納するお米の苗植えをしています。



いわみかぐら
石見神楽
この地方の伝統芸能。多くの生徒が社中に入っており、津高祭での演目披露などを行っています。



近隣の吉賀高校・益田高校と連携して森里海連環学を取り入れたプログラムを実施しています。



さきまい
鷺舞神事（7月）
弥栄神社に古くから伝わる古典伝統芸能。国の重要無形文化財です。



つわの鯉・恋・来いまつり（7月）
町内の夏まつり。有志が企画・出店したり、鯉のみこしを担いだりして、津高生も参加しています。

地域行事など様々な体験への参加は、自由です。また、地域への関心が深い生徒は、グローバルラボという部活動に入って深めることも可能です。グローバルラボに入部しなくても、それぞれの問題意識を基にした「マイプロジェクト」を展開することもできるので、自分の興味・関心に合わせて地域と関わることができます。また、過去に希望者を対象にした関東研修なども実施してきました。

年間行事

- | | |
|-----|--|
| 4月 | ●始業式 ●入学式 ●宿泊研修（1学年）
＊流鎬馬神事 |
| 5月 | ●生徒総会 ●中間考査
●総体壮行式 ＊お田植え祭 |
| 6月 | ●県総合体育大会 ●期末考査 |
| 7月 | ●球技大会 ●JAM ●終業式
●オープンスクール ●夏期補習
＊鷺舞神事
＊つわの鯉・恋・来いまつり |
| 8月 | ●夏期補習（3学年） ●始業式 |
| 9月 | ●津高祭 ●中間考査 ●鷗外講座 |
| 10月 | ●鍛錬行事 ●オープンスクール |
| 11月 | ●期末考査 ●寮球技大会 |
| 12月 | ●終業式 |
| 1月 | ●始業式 ●学年末考査（3学年） |
| 2月 | ●学年末考査（1・2学年） |
| 3月 | ●卒業式 ●球技大会 ●終業式 |

●は学校行事、＊は地域行事



www.tsuwano.ed.jp



島根県立 津和野高等学校

〒 699-5605

島根県鹿足郡津和野町後田ハ 12-3

☎ 0856-72-0106 fax 0856-72-0329